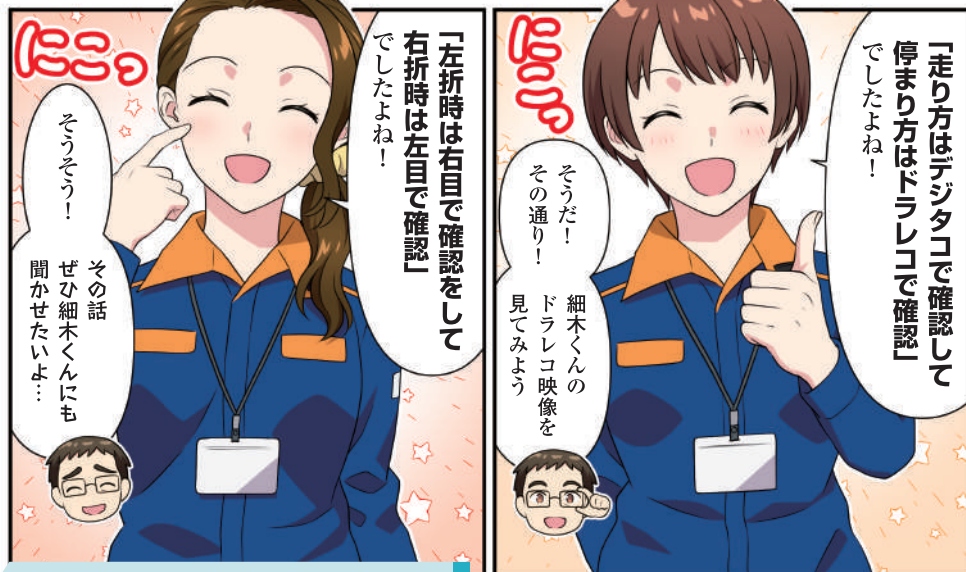
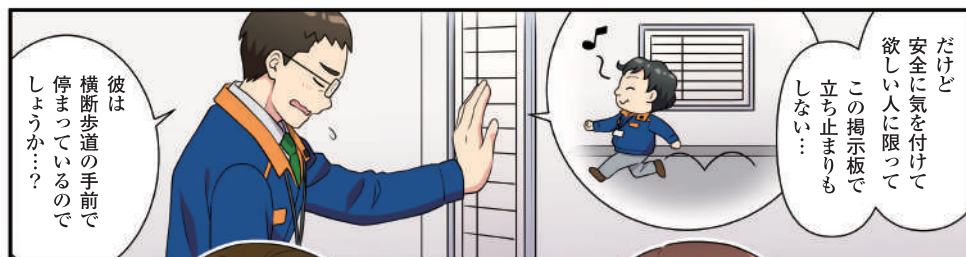
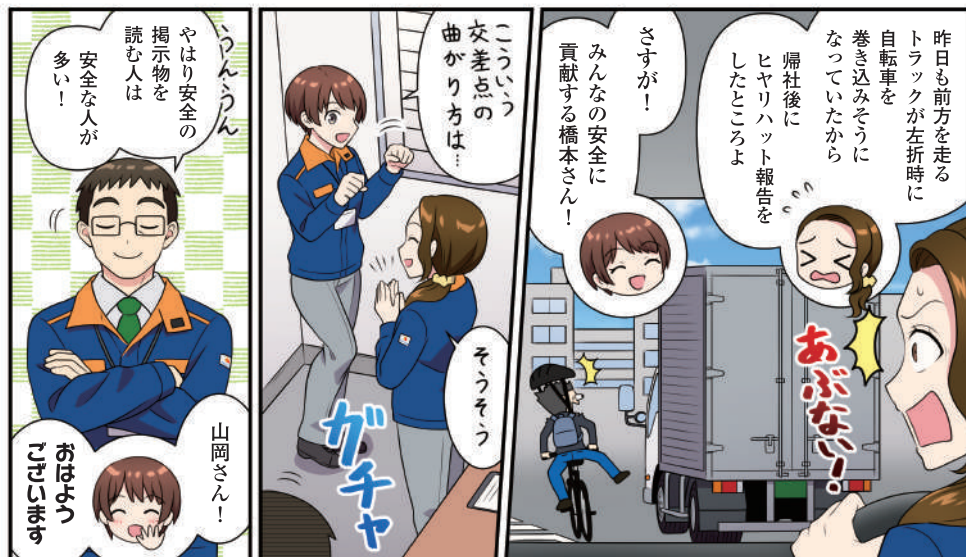




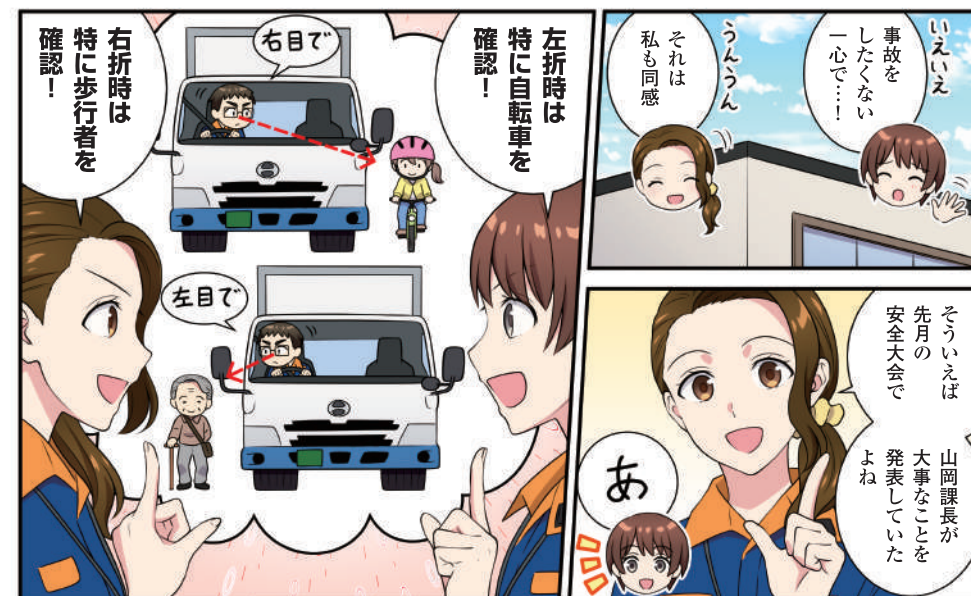
次で交差点における安全走行を解説!

・・・今日も快晴!・・・ トラックドライバー日誌

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

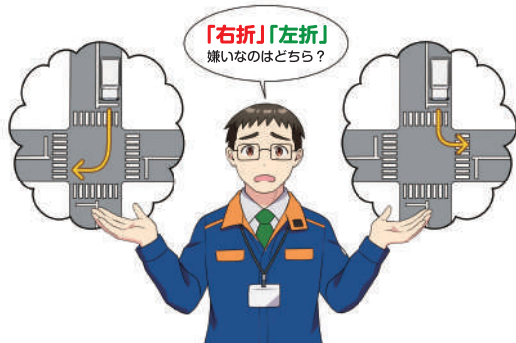
第32話

交差点の右左折時は 両目で安全確認



「キョロキョロ&チラチラ確認」で右も左も確認を

ドライバーに「右折と左折ではどちらが嫌い？」と聞いてみましょう。



右折も左折も「嫌い」と答える理由が多ければ多いほど
→的確に危険を知りつつ、
適切に回避している安全なドライバーの証し

例えば「左折のみが嫌い」と答えたドライバーは
→警戒していない右折で事故をする
可能性が潜んでいるかもしれません

マンガ制作: ad-manga.com

添乗指導をしていると交差点で右折開始時には、右側しか見ていない人がたびたび見られます。指導の際には、オーバーハングの膨らみによる接触事故を防ぐため、進行方向である右側だけでなく左側もチラ見するよう、例えると野球の投手がランナー「三塁時に二塁手をけん制する目線」のイメージだと伝えています。

「キョロキョロ&チラチラ確認」は、添乗指導時に安全確認の方法を説明する際によく使う表現です。1箇所のみを見るのではなく、2箇所以上を「キョロキョロ」確認。一方だけを見続けるのではなく、何度も細かく「チラチラ」確認。確認の「量」(回数)と「質」(やり方)にこだわります。

確認の「量」と「質」にこだわらる

添乗指導をしていると交差点で右折開始時には、右側しか見ていない人がたびたび見られます。指導の際には、オーバーハングの膨らみによる接触事故を防ぐため、進行方向である右側だけでなく左側もチラ見するよう、例えると野球の投手がランナー「三塁時に二塁手をけん制する目線」のイメージだと伝えています。

「キョロキョロ&チラチラ確認」は、添乗指導時に安全確認の方法を説明する際によく使う表現です。1箇所のみを見るのではなく、2箇所以上を「キョロキョロ」確認。一方だけを見続けるのではなく、何度も細かく「チラチラ」確認。確認の「量」(回数)と「質」(やり方)にこだわります。

交差点では左折時も右折時も、曲がればすぐに横断歩道があります。横断歩道上を最徐行で通過するためにも、横断歩道の手前で停まることを奨励しましょう。さらに停まってから首を振って左右を確認することにより、「目停止で一秒以上停止」つまり完全停止によって安全を確保することも容易です。

交差点を曲がればすぐに横断歩道

交差点では左折時も右折時も、曲がればすぐに横断歩道があります。横断歩道上を最徐行で通過するためにも、横断歩道の手前で停まることを奨励しましょう。さらに停まってから首を振って左右を確認することにより、「目停止で一秒以上停止」つまり完全停止によって安全を確保することも容易です。

右左折時において、横断歩道手前で優先すべき手順は「①停まる」→「②見る」です。順序を入れ替えて「①見る」→「②停まる」にすると、横断者がいないと思えば停まらなくなり、いないと思っていた横断者がいた場合には事故になるでしょう。

「加害者となってしまう人身事故」の確率が高い交差点事故を防止するために、もっとも基本的な安全行動は「停まってから確認」です。「停まりながら確認」は、危険な「ながら運転」といえます。

交差点の行動は4パターン

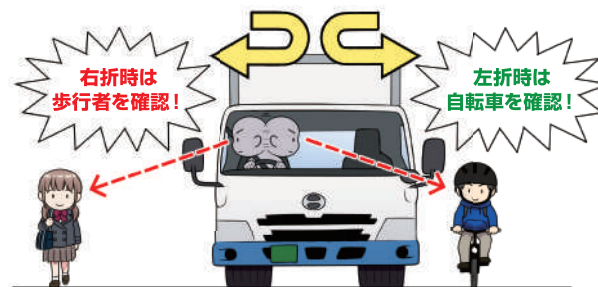
皆さんも新人ドライバーにアドバイスをする機会があるかと思いますが、添乗指導時には、走り方よりも「停まり方」で運転の違いが確認できます。そして「停まり方」の次にそれぞれの「曲がり方」にも運転の特徴が表れるものです。

交差点では「進む・停まる・左折・右折」の4パターンの行動があります。それに伴い事故形態も4パターンあるため「交差点事故防止」とひとくくりにせず、安全指導の項目も4パターンそろえておく必要があります。

その4パターンの中でも、特に右折は複雑な動きをします。右折時に多い事故パターンは、「横断歩道を歩く歩行者との接触」です。横断歩道上は歩行者に優先権があり、ひとたび事故を起こせば重大事故につながる可能性も。また過失割合が高まることで高額賠償もありえます。よって、ドライバーが右折時に「曲がる」「待つ」かの判断において、タイミングをひとつ見誤ってしまうだけで後々の人生において悔やみきれない事態になりかねません。

交差点を曲がる前は「目・耳・首振り」で確認

右折時は左目で、左折時は右目で、首を振って確認。左折時は助手席の窓を少し開けて、周囲の音を「耳」でも確認しましょう。



交差点での安全確認は首や上半身を
左右に振ることで視界が広がります

「目・耳・首振り」で交差点内の安全を確認

事故の発生が多い交差点。確実に停車した上で、右折時は左目、左折時は右目、そして耳と首振りで安全確認をしましょう。



高柳 勝二 (たかやなぎ かつじ)

株式会社 プロデキューブ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデキューブ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。